

学校だより(ねあがい)

令和2年3月13日発行

校長 石田 恵一

ご卒業おめでとうございます

本日、卒業式が挙行されました。今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日の午後から臨時休校となり、おそらく忘れられない1年となると思います。感染拡大防止のための措置であり、子ども達の生命や安全を守るための措置です。ただ、突然の一斉臨時休校であり、子ども達や保護者の皆さんにとっても戸惑うことが多かったと思います。全国的にも、突然の先生や仲間との別れや大会等の自粛要請の中で夢叶わず涙する子ども達の姿が報道され心が痛みました。あたり前に思っていたことが決してあたり前ではないと改めて思い知らされました。このような状況の中ですが、本校の先生達が、与えられた環境の中で精一杯の想いを込めて子ども達を送り出してあげたいといと今日の日のために一生懸命準備をすすめてきた姿も見えてきました。これまで子ども達を一生懸命育ててこられた保護者の皆様と共に、今日の日を心から喜びたいと思います。

3年生が残してくれたもの

今年の3年生は、私が根上中学校に赴任してきた年に入学し、3年間、その成長を見守ることがもできた子ども達です。3年生は、大きな軌跡を残してくれました。特に、運動会・合唱コンクール・文化祭などの学校行事の取組や部活動での真剣な姿は、今も深く心に残っています。今年は、学校行事や部活動にがんばるだけでなく、日々の授業の空気も確実に変わりました。清掃時には一生懸命に床と心を磨く子ども達の姿が見られます。間違いなく、これまでの根上中学校の良き伝統・良き校風をさらに高めてくれたと思っています。「あんな3年生になりたい!」という声を今年も例年以上に何度も耳にしました。3年生が、学校生活に全力で取り組み大きな成果をあげる。その姿にあこがれ、下級生が、新3年生を中心に先輩達を超えたいとさらにがんばる。理想とする学校の姿です。バトンは確実に後輩たちに渡されました。

3. 11を風化させない

今年も、3. 11に触れます。一昨日、東日本大震災から9年目の3月11日を迎えました。この未曾有の大災害は、改めて、私たち一人一人に、生きること、生かされていることの意味を問い直すことにもなりました。家族や仲間がいること、学校へ行けること、仕事ができることなどは決して当たり前ではない……。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止を経験する中で、改めて3・11を忘れてはいけない、心からそう思います。

【裏面に続く】